

おとまり会だより

〈令和3年7月20日〉 篠山保育園園長 足立善一郎

7月17,18日、天候にも恵まれ待ちに待ったおとまり会を行うことができました。自分たちで計画を立て、心と体の準備を整え全員参加でスタートを切ることができました。さて、ばら組さんのおとまり会はどうなったのでしょうか？時間を追ってみましょう。

17日(土)

AM10:20 食材分け

お店から届いた食材を分け、野菜は水洗いしました。

PM1:30…プールあそび ばら組さんだけの貸切です。いつものプールあそびに今回は、おとまり会バージョンで「ビー玉とり大会」もあり、思う存分楽しみました。

PM2:30…すいかマンとあそぼう すいか星から『すいかマンのすいちゃんとかわたらう』なる者が魔法のかかった“かた〜い”すいかを持って現れました。包丁でも切れない程の硬さです。このすいかを食べるには

“すいかの名産地”という曲を歌い、魔法を解いていきます。そして、すいかマンは目隠しをし(割れた時目がやられないように)すいかに向かっていきます。子どもたちの「みぎ、ひだり」のアドバイスがあったにもかかわらず、かわたらうは失敗してしまいました。続いてすいちゃんが挑戦します。かわたらうよりセンスがありそうです。子どもたちの声に従って進み、「そこっ！いまだ！」の声と同時に竹を振り下ろすと「ぱっ！」と

命中。割ることができました。魔法が解けたすいかを給食の先生に切ってもらい、乾ききったのをうるおしました。

PM3:45…夕食調理 いよいよ調理です。グループに分かれ、給食の先生より手順を覚えてもらい、作業



に入りました。まずは、お米をとぎます。初めてする子もいましたが、お米がこぼれないよう



に大切に取扱っていました。次に、左手に軍手をつけピーラーで野菜の皮むきをしました。その後は包丁で切っていきます。初めて包丁を持つ子もいますので、包丁のどちら側が「刃」になっているのかから教えていきます。子どもたちも慎重に野菜切りを行うことができ、手際が良かったです。包丁遣いがスムーズの子もいました。聞いてみると家庭でも料理をしているとのことでした。また、玉ねぎを切ると涙が出てきます。初めて経験する子は、この現実を知ることになりました。

PM5:00…ゲーム大会 カレーができるまでしばしゲーム大会。「的あてゲーム、ビンゴゲーム」。ごほうびがもらえることもあって、真剣そのもの！おとまり会の楽しさが更に増してきました。優勝したら、先生たちから“すきすきよしよし”のプレゼントでした。

PM6:25…カレーの出来上がり

給食室からいい香り。カレーができたようです。園舎前で配膳の準備が始まります。カレーライスとサラダがメニューです。自分たちで



作ったカレーは最高においしかったです。「せんせいおいしいでしょ」と自信満々の子どもたち。確かにおいしかったです。

PM7:15…片付け

自分が使った食器は自分で洗います。片づけが終わったら、寝床になる2階のたんぼぼ組へ布団を運びました。



PM7:50…ばら組さん出演 DVD鑑賞会

ばら組さんの生活一日を撮影したDVD鑑賞。客観的に見る“自分の姿”にちょっぴり恥じらいつつ、楽しそうに見ていました。

PM8:15…キャンプファイヤー



園庭にBGMが流れる中、子どもたちは光るブレスレットをつけ集まってきました。暗くなった園庭に集まったけれど、みんなの



顔がよく見えない！そこへ「火の女神」がやってきたのです。右手には火のついたたいまつを持ち、ばら組さんの

のために明かりを持ってきてくれたのです。そして、みんなの輪の中に準備してあった組み木に点火。火は天をも焦がす勢いで燃え上がりました。園庭も明るくなり、子どもたち・園長・職員と一緒にリズム遊びで盛り上がりました。その後は、花火大会でフィナーレです。楽しんでいるうちに女神さまからの火も小さくなり、キャンプファイヤーを終わりました。

PM8:50…シャワータイム

一日の汗を流します。なんだか「ホッ」とする時間です。先生にごしごし洗ってもらいすっきり！！その後パジャマに着替えた子どもたちの顔は、半日やり遂げた充実感と安堵感に溢れていました。

PM9:40…就寝

パジャマ姿で記念撮影。そして布団の中へ。子どもたちはしばらく興奮状態でしたが、その後子どもたちの声も聞こえなくなり、夢の世界へと入っていったようでした。夜中様子をのぞいてみると、さっきまでここにいた子が向こうの方で寝ていたり、頭があるはずのところに足があったりと、子どもたちは夢の中でキャンプファイヤーの続きをやっているようでした！



18日(日)

AM6:00…起床 ごそごそ1人起きれば3人起き、3人起きれば10人起き。「ここはどこだ？」周りを見渡して保育園に泊まったことを再確認。お互いに保育園に泊まれたことを何となく認め合っているようなそんな感じでした。起きたら布団をばら組へ運びます。



AM6:30…体操 朝のすがすがしい空気をいっぱい吸って体操をしました。そして朝の街を散歩しました。



AM7:00…朝食

先生たちが準備してくれたパンにフルーツ。もくもくと食べていました。



AM8:00…降園始まり おとまり会を振り返り、「自分たちで何でもできたこと」、「親と離れて泊まれたこと」をほめてあげました。そして、がんばった子どもたちに園長から『がんばったワッペン』を贈りました。



おとまり会を振り返って

親と離れて一日を過ごす不安と期待で始まったおとまり会でした。年長になると最上学年として頑張る一方、それを確認する上でもおとまり会で“自分のことは自分でできる”ということを自覚した活動だったと思います。家では甘えん坊さんの子たちも、私たち保育士が気づかないところで自分を励まし頑張っていました。責任感をもち、一日乗りこえた充実感、自信となっていくことと思います。子どもたちも改めて家族のぬくもりを感じたことだと思います。

後日おとまり会の写真を玄関前にはりだし、販売します。写真で振り返りながら、もう一度ご家庭で誉めてあげてください。

